

神野診療所
佐賀市神野東4-10-5 ☎0952-31-1060

神野診療所居宅支援事業所
佐賀市神野東4-10-36 ☎0952-36-4885

多久生協クリニック
多久市東多久町別府 3245-5 ☎0952-76-3177

虹のわ多久
多久市東多久町別府 4677-1 ☎0952-76-5580

介護相談所からつ
唐津市山本 1398-1 ☎0955-78-3011

本部 佐賀市神野東 4-10-5 ☎0952-31-1249



佐賀県医療生活協同組合

みんなの健康



2026年5月31日現在

組合員 12,122人(前月12,121人)
出資金 265,506千円(前月265,844千円)
班数 181班 2,781名(前月181班 2,781名)

[ホームページ]
http://www.saga-iryuu-s.or.jp



発行責任者: 理事長 愛野 浩生

6月21日(日)、第53回 通常総代会をアバンセホールにて開催しました

誰もが健康で居心地よく暮らせるまちづくりへの挑戦

「私たちは何のために存在するのか」、佐賀県医療生協の原点を再確認し、変化に向き合い、しなやかに対応し、原点を「進化・深化」させよう!
~すべての活動を「事業」ととらえて、多様な「参加と協同」を広げて、組合員の「出資・利用・運営」への結集を強め、「事業継続の危機」を乗り越えよう!
当日は総代出席85名、書面議決69名・委任状5名、理事・監事19名が参加。第1号から第3号議案の審議と採決が行われ、すべての議案が賛成多数で採択されました。



理事長 愛野 浩生

理事長より御挨拶

佐賀県医療生協は来年度の2月で創立50周年を迎えます。この50年間、時代や体制が変わっても、理事会を先頭に、患者さんや、医療生協組合員を主体として医療活動や、健康づくり、平和や社会保障制度拡充の運動を進めてまいりました。あらためて、医療生協の50年間を振り返ってみますとまだ、佐賀市内では、夜間の医療供給体制、特に小児における救急医療が発達しなかった頃、医療生協組合員の皆様がいっつも安心して受診できるようにと24時間、365日の診療に努力してまいりました。特に印象的だったのは三瀬の山村から夜間に小児の外来が多かったのが思い起こされます。八ヶ月の乳児の吐血や熱性けいれんで呼吸不全に陥った幼児など、緊急で佐賀大学医学部付属病院に搬送しなければいけない症例で一睡もできず翌日の外来に突入したことを覚えています。私的なことですがその診療体制を維持するため、私も香月医師も休みがとれず、二人とも新婚旅行は行っていません。多い日には、神野診療所には200人を超える患者さんがおいでいただいております。

また、歴史的には佐賀県の基幹産業であった炭鉱労働者の労災問題に取り組み県内各地で掘り起こし検診を行ない、数多くの患者さんに労災認定を受けていただくことができました。補償を受けながら医療費の心配なく治療を受けることを勝ちとりましたが、残念ながら神野診療所の病棟では、呼吸ができず苦しみにながら亡くなられた患者様も多く看取らせていただきました。生きたるための労働が病気を発生させる労働災害を予防する取り組みは、今も私の産業界としての活動の原点です。

また医療生協では、開設以来、班会を各地で取り込み、健康チェックや病気の学習、検診の必要性の啓蒙など病気の予防や早期発見に力を入れてきました。班会で病気の早期発見につながり、治療に繋がった組合員も多くいます。経済的問題で治療を諦めていた方が班会に体験参加したことをきっかけに生活保護につながり危険な状況から脱した事例もありました。現在取り組みを強化している無料低額診療は、物価高騰、経済的格差を背景に佐賀県内各地にひろがりを示しています。市町村の枠を越えて、また、診療科の枠も超えて各地域の社会福祉協議会より診療依頼があつてます。遠くは長崎県からも来院されています。ただ、私たちだけでは、診療をおこなえる分野の限界もあり、もっと多くの医療機関での広がりが求められます。

佐賀県医療生協の存在意義を未来へ

佐賀県医療生協が歩んできた道には、ひとつの揺るぎない思いがあります。それは、「地域のいのちと健康を、地域の人々で守る」という、まっすぐで温かい願いです。厳しい状況の中で、佐賀県医療生協が果たすべき役割は、ますます重要になっています。医療生協は、ただ医療を提供するだけの組織ではありません。ここに集う組合員一人ひとりが、医療を「支える側」として関わり、地域の健康を自分たちの手で守っていく。その姿勢こそが、医療生協の存在意義そのものです。

以前より2025年問題が大きく取り上げられてきましたが昨年度、まさにその年となり、団塊の世代といわれる人々が、後期高齢者となっています。佐賀県は、全国に先駆けて高齢化も早いペースで進んでいます。こうした地域特性の中で、医療生協は、診療所や介護事業所、健康づくりの活動を通じて、「地域に必要な医療、介護を展開してまいりました。今後も、佐賀の地域医療を守っていくためには、これまで以上に、私たち、組合員の力が重要です。私たちが声を上げ、参加し、支え合うことで初めて成り立つ組織です。健康づくりの場に参加すること。困っている人に手を差し伸べること。地域の課題を見つけ、改善の声を届けること。その一つひとつが、地域医療を確かに前へ進めています。私たち組合員一人ひとりの行動こそが、地域の医療を未来へつなぐ力になります。私たちの地域のいのちと暮らしを守るために、佐賀県医療生協の存在意義を、これからの佐賀の未来に、さらに力強く刻んでいきたいと思います。

現時点では、臨時総代会で決議された経営再建の課題を取り組んでいるところですが、経営の問題でたちどまってはられません。地域包括ケアの担い手として、医療生協はなくてはならない存在として今後も発展して行く必要性があります。入院施設や高齢者の入所施設も手放す結果となっていますが、病診連携、外来医療、在宅医療、通所介護等の、有機的な連携で、佐賀県医療生活協同組合の目指す地位包括ケアを実践していきたいと思つています。人口減少の中でも信頼される組合員共同の力で、運動と、事業、組織作りが可能であると確信しております。本日の活発な討論をお願いし理事長のご挨拶とさせていただきます。

第1号議案 2025年度 諸活動報告・事業報告・決算報告、および欠損金処理案承認の件

- 世界で戦争が継続する中で、平和憲法を守る取り組みとして、「ミサイルよりケアを」を合言葉に、憲法共同センター や全日本民医連、佐賀県生協連が企画した学習・署名運動へ積極的に参加しました。
- 組合員活動では、「組合員参加のあり方」の議論とともに、諸企画・活動への組合員参加、職員参加に目標を立てて取り組みました。
- 事業活動では、患者・利用者の減少に歯止めがかからず、経営的にも3期連続の大幅赤字決算という危機的状況に瀕しました。神野診療所は看護体制の維持ができず、2026年3月での病棟休止になりました。
- 第8次長期計画策定については、2026年6月の総代会に向けて、長計検討委員会を設置し、3回の議論と組合員・職員アンケート(131件回収)を実施してきました。佐賀県医療生協の歴史と存在意義を確認し、10年後の構想・ビジョンを具体化しながら、5年間の事業計画の検討に入るところまで議論を進めてきました。



佐賀県医療生協の現状 (2026年3月31日現在)

- 組合員総数 12,122名(2024年度末現勢▲1,377名)
- 出資金総額 266,780千円(2024年度末▲24,697千円) 一人平均22,008円
- 班数と班員 182班 2,785名(増減率22.9%)
- 運営委員 10支部 69名・機関誌配布協力員 215名 配布数3,956部

無料低額診療事業

	2025年度	実績	前年度実績	前年差	前年比
神野診療所	無低件数	399件/1,167人	379件/1,222人	20件/-55人	105.3%
神野診療所	減免金額	2,582,010円	2,108,599円	473,411円	122.6%
多久生協クリニック	無低件数	224件/371人	228件/387人	-4件/-16人	98.2%
多久生協クリニック	減免金額	630,220円	727,810円	-97,590円	86.6%
合計	無低件数	623件/1,538人	607件/1,609人	16件/-71人	102.6%
合計	減免金額	3,212,230円	2,836,409円	375,821円	113.2%

損益計算書(生協) (自2025年4月1日 至2026年3月31日) 単位:円

科目	金額	前年度
【事業収益】		
・医療事業収益	339,819,435	
・介護福祉事業収益	145,474,595	
・住宅事業収益	20,992,778	
・その他事業収益	117,346	
【事業費用】(本部経費費負担除く)		
・医療事業費用	303,032,998	
・介護福祉事業費用	104,441,040	
・住宅事業費用	59,645,892	
【事業剰余金】		
【本額費】	57,844,357	
【事業剰余金】	-18,560,128	

第2号議案 2026年度活動方針案・事業計画・予算案承認の件

- 健康づくりに関する取り組み**
- 「健康づくりチャレンジ」を班会、他団体、小学校・幼稚園などに広げ、地域丸ごと健康づくり。
 - 「すこしお生活」: 減塩・たんぱく質の取れる料理教室を開催します。
 - 「フレイル予防」: 「長生き生活」の普及・学習、「スクエアステップ」の指導員育成を進めます。
 - 顔の見える身近な範囲で「ゆるやかなつながり」を広げ、お互いを気にかけて合える安心のネットワークと助け合いの輪を広げます。
 - 大腸がん検診、胃カメラ、特定健診の受診率向上を目指します。

- 事業計画・予算のポイント**
- 医療、介護事業の見直しと患者・利用者数の拡大
 - かかりやすさの工夫: 院所利用委員会、送迎体制
 - 無料低額診療の強化、在宅医療・訪問看護の拡大
 - 介護事業の質改善と地域連携の向上
 - 医療・介護 DX-ICT活用 ○虹のわ多久事業推進(8月1日)→運搬は継続
- 2026年度予算(修正)**
- 必要利益: 償却前経常利益 30,000千円
 - 予算到達: 償却前経常利益 17,789千円(不足12,056千円)
 - 入院除く、各事業で10%以上の増収を必達目標とし、必ず黒字化
 - 事業収益 461,700千円(前年比91.2%)
 - 事業費用 449,112千円(前年比95.6%)
 - 借入金上償3億円、長期借入40,000千円
 - 資金積立10,000千円以上

2026年度の数値目標

- ★なごまふやし 613名
- ★出資金増資 1,500万円
- ★近づくり 12班
- ★寄りこし班 10班
- ★班会開催 400回
- ★担い手づくり 207名
- ★機関誌手配り協力員 47名
- ★健康チェック受検者 延べ5,000人
- ★雑誌「comcom」誌 10部
- ★いつでも元氣誌 10部増

第3号議案 役員報酬額決定の件

限度額を昨年同様の30,000千円とし、個別の支給額は理事会で決定します。(常勤役員2名・非常勤理事15名・監事4名)

常勤理事：愛野浩生	全体区分理事：倉富和子	監事：福井健一	理事：古賀廣子(佐賀北支部)	理事：寺町祥子(神埼支部)
常勤理事：洗川和也	全体区分理事：木塚隆輔	監事：喜多裕彦	理事：吉田吉寛(佐賀北支部)	理事：永家なち子(神埼支部)
全体区分理事：有馬嘉宏	全体区分理事：小野美康	監事：中原龍彦	理事：間島恵子(佐賀大和支部)	理事：松本幸子(多久・小城支部)
全体区分理事：香月彰夫	全体区分理事：カウ尚子	監事：原口智浩	理事：新郷富代子(鳥栖・三養基支部)	理事：下条晃(唐津・東松浦支部)
全体区分理事：松尾文				

創立50周年を迎えます

佐賀県医療生活協同組合は、2027年2月に創立50周年を迎えます。福岡県民主医療機 関連会(民医連)の支援を受けて、1976年5月に佐賀駅前に神野診療所が誕生しました。そして、「すべての人に無差別・平等の医療を」「働く人々の立場にたつ」を掲げた診療所の医療活動を物資両面で支え、「私たちの診療所」として、「ひとりがみんなのため、みんながひとりのため」の精神のもと、医療生協を1977年2月に設立しました。

「健康づくり」を中心とした住民の自主的医療運動として、また、「予防からリハビリテーションまで責任をもち、安心してかかれる私達自身の総合病院を作りあげたい」という将来の夢、県内それぞれの地域にも民主的な医療機関を開設・運営する展望をもって運動を広げ、今日では1万2千人を超える組織まで発展してきました。



「班会」って知っていますか?

班を作りませんか?健康でありたいという願いを応援するため、佐賀県医療生協では班会を行っています。班は3人集まれば作る事ができ、身近な人ととのつながりの中で、みんなで話をしたり、健康チェック、レクリエーションなどアイデア次第でいろいろ取り組むことができます。サークル仲間や職場でも班をつくる事ができます。まずは「おためし班会」を開いてみましょう!

班の魅力 普段から自分の身体をチェックできる
健康チェックを習得し、健康管理に役立ててみましょう!

血圧測定：自分の血圧を知り、脳卒中、心臓病を防ごう **高血圧を甘くみてはダメ!**
体脂肪測定：自分の適正体重、体脂肪を知らう **現状もわかる!**
尿チェック(塩分チェック)：身体の状態を知るための重要な手がかりがたくさん。塩分摂取量もわかる。

他にも簡単な機械を使って、身体の変化を見ていきましょう!(年に1回)

血管年齢測定：血管の弾力性が年齢相応かどうかを測ることができる。
骨密度測定：骨がもろくなっているかどうかを知る指標。
足指力測定：足の筋力をどれぐらい維持しているか測ることができる。
握力測定：全身の筋力の一つの指標。

虹のお多久から皆さまへ 事業譲渡のご挨拶

2013年8月1日の開設以来14年間、組合員の皆様をはじめ、多くの方々から温かいご支援を賜り、事業を継続してこられましたことに心より御礼申し上げます。

この度、介護付き高齢者住宅 虹のお多久は、2026年8月1日をもって「株式会社さなる福祉会」へ事業譲渡する運びとなりました。事業譲渡後は、利用者様・職員ともに医療生協の運営から離れることとなりますが、有料老人ホーム(通所介護併設)として新たな形態となっても、これまで築いてきた協力関係(施設往診など)は継続し、地域の施設として引き続き活動してまいります。介護施設をお探しの際には、今後とも当該施設をご検討いただければ幸いです。職員一同、変わらぬ笑顔と真心をもって対応させていただきます。開設当初より賜りましたご支援に、改めて深く感謝申し上げます。

施設長 木塚 隆輔 ほか 職員一同



困ったことがあれば 無料法律相談会へ

医療生協では組合員を対象に、医療、相続、法律、労働、生活などで困ったことがある方へ無料の法律相談会を開催しております。この機会に、ご自身の相談や近所で困られている方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

神野診療所 ★日時…7/22(水) 13:30~ (1件の相談時間は30分程度) ★場所…神野診療所 (予約 ☎0952-31-1060)	多久生協クリニック ★日時…8/26(水) 13:30~ (1件の相談時間は30分程度) ★場所…多久生協クリニック (予約 ☎0952-76-3177)
--	--

※佐賀中央法律事務所の弁護士が相談に応じます。
 ※予約が必要ですので、事前にご連絡をお願いします。
 ※相談料は無料ですが、事件解決を弁護士が継続して行う場合には別途費用が必要です。ただし、法テラスによる費用立替制度があります。
 ※相談された個人の情報の秘密は守られますので、ご安心ください。
 相談をお急ぎの方は佐賀中央法律事務所(0952-25-3121)までお電話ください。

「無料・低額診療事業」ご存知ですか?

「無料・低額診療事業」とは、経済的な理由で医療費の窓口負担のお支払いが困難な患者さんに対し、医療費を減額・免除する制度です。佐賀県内では神野診療所と多久生協クリニック、済生会唐津病院の3ヶ所で実施しています。佐賀県医療生協の減免基準は、世帯収入が生活保護基準の120~140%未満の場合は医療費自己負担額を一部免除、120%未満の場合は全額免除としています。ご相談される場合は、面接や書類審査などがありますので、日程のご予約と世帯全体の収入がわかる書類(所得課税証明書、年金通知書、給与明細書など)をご持参下さい。

神野診療所(担当：松尾 電話 0952-31-1060)
 多久生協クリニック(担当：有馬 電話 0952-76-3177)

厚生労働省基準適合・健康サポート薬局
 有限会社 佐賀保健企画

虹の薬局 虹の薬局多久店

●保険調剤 ●福祉用具販売・貸与事業所

○虹の薬局 〒840-0804 佐賀市神野東4丁目9-21 TEL:0952-32-2077 FAX:0952-32-2088 http://www.saga-niji.jp/	○虹の薬局多久店 〒846-0012 多久市東多久町大字別府3245-23 TEL:0952-71-2087 FAX:0952-71-2088
--	--

2026年度第3回(6/20)理事会報告

議事は以下の通りです。

報告承認事項

- 1) 全国四課題等まとめと全体の活動の特徴：加入単月5名(目標▲48名、前年差▲15名)脱退：4名(自由脱退2名、法定脱退2名)目標達成支部：なし。出資金増資：単月794千円(目標▲477千円、前年▲100千円)増資延件数：260件、目標達成支部：北支部、南支部、鳥栖三養基支部、多久小城支部、神埼支部、武雄杵島支部。仲間増やしが低調、生活苦や職員の退職に伴う脱退減資などが増加。
- 2) 5月決算結果：経常利益実績：▲1,956千円(予算差▲75千円、前年実績差▲111千円)と2か月連続の予算未達。神野診療所が予算達成も、外来患者数の減少、介護利用者減少など厳しい状況が続く。診療費減免218千円(予算比140.6%、+63千円、前年比83.3%、▲44千円)。金額は入院分の減少もあるも、件数は増加傾向であり、生活困窮の状況が伺えます。

審議・議決事項 6月の重点課題など

- 1) 組合員活動：仲間ふやし：53名(職員42名・組合員11名)、班づくり12班、班会34回、増資：1,266千円(職員904千円、組合員362千円)をめざします。スクエアステップ体験会企画、料理教室、24時間番尿塩分調査結果説明会などの取り組み。
- 2) 平和と民主主義、社保運動：学習を軸に各種要請署名・宣伝行動を行います。戦争反対、憲法改悪反対の対話を進めましょう。
- 3) 事業経営活動：6月予算達成を目指します。病院閉鎖の減収と退職者(年休消化)の人員費発生で厳しい状況ですが、黒字予算となっています。収益確保が最重要課題、組合員の各種健診、予防接種の診療所利用を訴えます。
- 4) 総代会へ向けた議案、当日運営について確認しました。